

館山

海の幸誕生の家と記念碑保存する会

文化財保護功勞で表彰

館山市の「青木繁《海の幸》誕生の家と記念碑を保存する会」(嶋田博信会長)が、県文化財保護協会の創立50周年記念文化財保護功勞者表彰を受賞した。千葉市内であった表彰式で表彰された。受賞者数は2人と3団体だった。

同会は、青木繁が「海の幸」を制作した館山市布良の小谷家住宅、青木の没後50年記念で建てら

れた記念碑の保存、活用に向け、地元有志を中心に結成された。小谷家住宅は、同会の依頼した専門家による調査で、明治前期の貴重な建物であることが分かり、平成9年に市の文化財指定を受けた。

同会では修復、公開を目指して、全国の著名画家らによるNPOと連携して基金を集め、保存に向けたたふると納税制度

の整備にも尽力。こうした取り組みによって、同住宅は修理され、来春に公開される予定となっている。

同会の前身は、「青木繁《海の幸》記念碑を保存する会」。一時撤去の危機にあった記念碑が、地元の要望により市が保存することになったのを契機に、平成10年に地元有志で設立された団体で、現在も草刈りなど保



受賞したメンバーら=千葉市

存や普及といった活動を文化財保護、活用の取り引き継いでおり、一連の取り組みが評価された。